

インターネット利用規定（第3版）

この規定は本校でのインターネットの利用に関するものです。インターネットでは情報収集や情報発信が可能となり、みなさんの学習に大きく役立つものとなります。

しかし、インターネットの利用のルールやマナーが守られない場合、本校ばかりか全世界に対して迷惑をかけることにもなりかねません。

インターネットを有効に利用するために最低限のルールを一人ひとりが守りましょう。

（本則）

1. インターネットの利用は学校が定める時間内とする。ただし、ネットワーク管理上の都合で利用時間を制限することがある
2. インターネットを利用するときは、許可を得なければならない。ただし、授業で利用する場合を除く
3. ネットワーク上で公序良俗、法令に違反する行為や誹謗中傷を行ってはならない
4. 発信する内容については、自ら責任の持てる内容に限る
5. 発信内容は、国内にとどまらず全世界に発信されることに留意し、本校学生としての品位を損なわないようにしなければならない
6. 使用権のないコンピュータへのアクセスなど、ネットワークの正常な運用を阻害する行為を禁止する
7. 学習に関連しない接続先へのアクセスは禁止する
8. 有料データベースの利用、オンラインショッピングの利用などは禁止する
9. インターネット利用に際しては、利用ガイドラインに従うこと
10. 上記の利用規定に違反した場合は、罰則に従って処分することがある

（罰則）

利用規定に違反した場合、校長は次のような処分を行うことができる。

- 懲戒によって注意を促す
- 一定の期間ネットワーク利用を停止する
- アカウントを抹消し、以後のネットワーク利用を禁止する
- 状況によっては学則どおりの処分の対象とする

(利用ガイドライン)

● 利用期間と利用時間

1. 授業時間以外に利用するときには、必ず担当講師の許可を得て利用しなければならない
2. インターネットは、授業に関連した内容で利用目的を明確にした上で利用すること

● アカウント及びパスワードの発行

1. 学生用のアカウントは、ネットワーク管理責任者が定めたものを利用する

● 禁止される行為

本校ではユーザの利益・権利の保護と有益なサービスの提供のため、以下の行為を禁止する。これらの行為は処分の対象となり、以後の利用を停止し、アカウントを抹消する場合がある。

1. 公序良俗、法令に違反する行為を目的とした利用
2. 犯罪に結びつく行為
3. 他人の知的所有権や著作権を侵害する行為
4. 他人の財産・プライバシーを侵害する行為
5. 他人に不利益を与える行為
6. 他人を誹謗中傷する行為
7. 本校ネットワーク管理業務を妨げる行為（システム設定の変更を含む）
8. システムの設定に影響するソフトウェアのダウンロード又はインストール
9. インターネットシステムの迷惑・破壊行為
10. 職員の指導に従わない行為
11. その他、授業に関連しない利用

● 利用の停止

利用規定に違反した場合、校長とその他の講師で扱いを検討し、全職員と保護者に共通理解を図った上で授業時間内も含む一定期間の利用停止や学生指導の対象にするなどの指導を行う場合がある。

(学生用 Wi-Fi 利用ガイドライン)

- 利用期間と利用時間
 1. 在学中の学生が、学校内に滞在している時間に利用できる。
 2. 利用を希望する学生は、申請を行いインターネット利用規定に同意をしなければならない。

- 利用できる端末
 1. 端末の種別は問わないが、1台のみ利用できる。

- 禁止される行為
 1. 前述の禁止される行為に準ずる。ただし、授業時間以外の利用については授業に関連のない利用を許可する。
 2. SSID 及びパスワードなど、接続に必要な情報を口外する行為。

- 利用の停止
 1. 利用規定に違反した場合、学生用 Wi-Fi を利用することを禁ずる。

● エチケット

1. ネットワークでは、コンピュータの画面の向こう側に人がいることを忘れてはならない
2. ネットワーク社会は多くのボランティアによって支えられていることを理解し、ネットワークの恩恵を受けるばかりではなく、自らもその一端を担うことに努めること
3. ネットワーク上には多くのエチケットが存在する（これを「ネチケット」という）。他人（外部を含む）から指摘を受けた場合には素直に従い、正しいルールとマナーを身につけるように心がけること

● 自分自身の安全のために

1. SNS、電子メール（E-Mail）やホームページなどに、むやみに個人情報を書いてはならない。ネットワーク上のデータ伝送は郵便の「封書」ではなく、「はがき」であることを認識しなければならない
2. 特に認められた場合を除き、個人が特定できる情報を発信してはならない
3. ネットワーク上でトラブルが生じた場合には、直ちに職員に連絡すること

● ネットワークの安定した運用のために

1. ネットワークにつながったコンピュータは、自分だけが利用するものではない。システムやアプリケーションそのものの設定を変更して他の人に迷惑をかけてはならない
2. コンピュータの電源を切るときは、必ず使用していたアプリケーションソフトとシステムを終了させてから電源を切るようにすること
3. 操作中に異常や問題が生じた場合には、電源を切ったり、リセットボタンを押したりせず、すぐに担当講師に連絡すること
4. サーバはネットワークの基幹部分である。サーバはネットワーク管理者が管理をするので、学生による勝手な操作を禁止する
5. 本校では複数の教室のコンピュータを接続して校内ネットワークを構成している。不必要な操作やルール・マナー違反の行為はネットワークシステムを破壊するおそれもあるので、十分気をつけること

インターネットを有効に利用するためには、使用前にマニュアルや参考書を読むことが望ましいです。そこには操作方法を含め、有益な情報や情報検索のための多くのヒントが存在しています。正しい知識を身につけてネットワークを利用しましょう。